

令和6年10月定例教育委員会議録

1. 日 時 令和6年10月2日(水)午後2時00分
2. 場 所 泉佐野市役所4階 庁議室
3. 出席委員
- | | |
|----------|---------|
| 教育長 | 奥 真弥 |
| 教育長職務代理者 | 山下 潤一郎 |
| 委 員 | 中村 スザンナ |
| 委 員 | 甚野 益子 |
| 委 員 | 石崎 貴朗 |
| 委 員 | 谷口 朋 |
| 委 員 | 形部 博紀 |
4. 説明のために出席した職員の職、氏名
- | | |
|---------------------|-------|
| 教育部長 | 木下 隆 |
| 教育部理事 | 檜葉 浩司 |
| 日本遺産推進担当理事 | 中岡 勝 |
| 読書活動推進担当理事 | 大引 要一 |
| 泉州国際マラソン担当理事 | 山路 功三 |
| 教育総務課長 | 鍵埜 和弘 |
| 教育総務課教育総務担当参事 | 山本 建志 |
| 教育総務課教職員担当参事 | 山岡 史賢 |
| 教育総務課夜間中学校担当参事 | 本道 篤志 |
| 学校教育課長 | 長田 龍介 |
| 学校教育課学校指導担当参事 | 辻本 武司 |
| 学校教育課人権教育担当参事 | 渡辺 健吾 |
| 生涯学習課読書活動推進担当参事 | 細矢 祥代 |
| 青少年課長 | 洞 義浩 |
| スポーツ推進課泉州国際マラソン担当参事 | 池田 秀明 |
| (庶務係) 教育総務課総務係長 | 室 拓二 |
5. 本日の署名委員 委 員 谷口 朋

議事日程

(報告事項)

- 報告第28号 教育委員会後援申請について
報告第29号 教育委員会後援実施報告について
報告第30号 令和6年度全国学力・学習状況調査分析結果(学校教育課)
- 議案第13号 泉佐野市立中学校35人以下の少人数学級推進事業実施要綱の改正について
議案第14号 泉佐野市立小中学校における心身の健康への適切できめ細かな対応充実推進事業について(教育総務課)
議案第15号 令和7年度 泉佐野市小中学校教職員人事異動基本方針について(教育総務課)

(午後2時00分開会)

奥教育長

ただ今から令和6年10月の定例教育委員会議を開催します。

本日の傍聴はございません。

本日の会議の冒頭に、教育委員会委員の任命について木下教育部長より報告をお願いします。

木下教育部長

それでは、去る令和6年9月定例市議会におきまして「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第2項」の規定によりまして、教育委員会委員任命についての同意を求めることについて議会の同意を得ましたのでご報告いたします。

赤坂 敏明委員並びに石崎 貴朗委員におかれましては本年9月30日をもちまして、任期満了となりました。

石崎委員につきましては引き続き教育委員会委員としてご推挙、赤坂委員の後任といたしましては形部 博紀様を教育委員会委員としてご推挙いたしましたところ、議会の任命同意を得ましたのでご報告を申し上げます。

奥教育長

石崎委員におかれましては、引き続き教育委員会と教育行政についてご尽力いただきますよう、どうぞよろしく願いいたします。

続いて、新しく教育委員になられた形部委員の経歴について、事務局から紹介をお願いします。

鍵埜教育総務課長

(形部委員の経歴について説明)

奥教育長

形部委員におかれましては、教育委員会に新風を吹き込んでいただきまして、ご尽力いただきますよう、どうぞよろしく願いいたします。

それでは、形部委員、一言ご挨拶をお願いいたします。

形部委員

(挨拶)

奥教育長

ありがとうございました。どうぞよろしくをお願いいたします。

なお、赤坂委員の退任によりまして、山下委員を教育長職務代理者としてご指名させていただきますので、どうぞよろしくをお願いいたします。

山下委員

(挨拶)

奥教育長

どうぞよろしくをお願いいたします。

それでは、会議を進行いたします。

委員全員が出席をされておりますので、会議が成立しております。

本日の会議録署名委員は谷口委員にお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。

本日の審議に入ります前に、8月臨時教育委員会議及び9月定例教育委員会議の会議録についてご確認をお願いいたします。

まず、8月臨時教育委員会の会議録について、委員の皆様で何かお気づきの点がありましたら、お願いいたします。

山下委員

会議録35ページにて、鍵埜教育総務課長から傍聴について発言がありましたが、傍聴の抽選に外れた方がいらっしゃる場所を会議の開催場所から離していただきたいと思います。開催場所の隣室であった抽選会場にて、大声で騒いだ方が多く、会議の進行に支障がありましたので、そちらの場所について、もう少し配慮をしていただければと思います。

鍵埜教育総務課長

抽選につきまして、事前にきちんと周知の方をさせていただいておりましたが、ご意見をいただきましたので、抽選を行わずに済むように、可能な範囲で対応を検討させていただきたいと思っておりますので、よろしくをお願いいたします。

奥教育長

よろしいですか。

山下委員

傍聴の抽選に外れた方も、静かにしていただき、騒ぐのであれば抽選会場からも退出していただければ良いと思います。

奥教育長

会議中に何か発言をされることはありませんでしたよね。

山下委員

ありませんでした。ただ、隣室が騒がしかったです。

中村委員

この35ページの「また、本日傍聴できなかった皆様にはお詫びを申し上げたいと思います。」という表現が違うということを山下委員はおっしゃっています。「申し訳ございませんでした」と謝っておられるので。

鍵埜教育総務課長

修正いたします。

奥教育長

他にございませんか。

無いようでございますので、続いて9月定例教育委員会議の会議録について、委員の皆様で何かお気づきの点がありましたら、お願いいたします。

よろしいですか。

では、特に無いようでございますので、会議録の確認は終了させていただきます。恐れ入りますが、8月臨時教育委員会の会議録については甚野委員、9月定例教育委員会議の会議録については石崎委員に後ほど署名をお願いします。

それでは本日の審議に入りたいと思います。

はじめに報告第28号「教育委員会後援申請について」を議題といたします。報告をお願いします。

鍵埜教育総務課長

教育長専決により教育委員会の後援名義使用を承認した事業について、報告資料28に基づいて説明。

継続4件の事業内容について一括で報告。

奥教育長

ただ今の報告について、ご意見ご質問がございましたらお願いします。

無いようでございますので、以上で報告第28号を終わります。

次に、報告第29号「教育委員会後援実施報告について」を議題といたします。報告をお願いします。

鍵埜教育総務課長

報告第29号「教育委員会後援実施報告について」ご説明いたします。

報告資料29「教育委員会後援実施報告一覧表」をご覧ください。

報告件数は今回7件でこれらは以前に教育委員会で後援承認したものであり、実施報告ということで、報告資料29をもって報告にかえさせていただきます。

奥教育長

ただ今の報告について、委員の皆様でご意見ご質問がございましたらお願いします。

無いようでございますので、以上で報告第29号を終わります。

次に、報告第30号「令和6年度全国学力・学習状況調査分析結果」を議題といたします。報告をお願いします。

辻本学校教育課学校指導担当参事

報告第30号「令和6年度全国学力・学習状況調査分析結果」について、説明させていただきます。

教育委員会における市町村・学校の結果公表の取扱いについて、全国学力・学習状況調査の実施要領では、「調査により測定できるのは学力の特定の一部であることなどを踏まえるとともに、序列化や過度な競争が生じないようにするなど教育上の効果や影響等に十分配慮することが重要である。」とされています。実施要領に定める配慮事項に十分留意した上で、調査結果を公表させていただきます。

この調査は、小学校6年生と中学校3年生の児童生徒を対象として実施され、学力に関しては、今年度、小学校では「国語」、「算数」、中学校では「国語」、「数学」の調査が行われ、併せて児童生徒の学習や生活の状況、学校の取組みに関する調査も行われました。

市の分析結果につきましては、10月7日（月）にHPで公表する予定としております。また、各学校の分析結果につきましては、児童生徒・保護者等にとって、学校の取組みがより分かりやすいものとなるように、現在、形式を変更しまとめているところで、12月中旬に公表する予定となっております。3ページ以降にある資料は、HPに掲載予定の市全体の分析結果となります。

なお、この後の説明につきましては、配付させていただいております、A4横置き両面刷りの資料である「概要版」にて報告させていただきます。こちらの概要版は、明日の校園長会でも使用予定の補足資料ですので、HPには掲載いたしません。

今年度の結果概要でございますが、平均正答率は、小学校6年生につきましては、国語は大阪府が66ポイントのところ、泉佐野市は63ポイント、府との差はマイナス3ポイント、算数は大阪府63ポイント、泉佐野市60ポイントで、府との差はマイナス3ポイントとなっております。

中学校3年生につきましては、国語で大阪府57ポイント、泉佐野市53ポイントで府との差はマイナス4ポイント、数学は、大阪府51ポイント、47ポイントで府との差はマイナス4ポイントとなっております。

これを、問題数に置き換えて示した数値が、その下の「平均正答数」となります。見方ですが、例えば小学校国語について、当日の問題は全部で14問ございました。そのうち大阪府の平均は9.24問のところ、泉佐野市の平均は8.82問正解しているということになります。

昨年度に引き続き、通過率についても分析しました。通過率とは、全国で平均正答率70%以上の問題について、その学校の平均正答率が70%以上を「通過」とし、何問通過しているかを割合で表したものです。端的に言うと、全国で多くの児童生徒が解答できている問題を、泉佐野市の小中学校でもできているのかという指標になるものです。小学校では、対象となる、いわゆる正答率70%以上の問題が国語で7問、算数で8問あり、これらの問題の全問で通過している、いわゆる通過率100%の学校は、国語で2校、算数で2校でした。同様に中学校では、対象となる問題は国語で3問、数学で5問あり、通過率100%の学校は、国語は2校、数学は1校でした。

対府比の経年比較はご覧のとおりです。小学校の算数は横ばいですが、小学校の国語、中学校の国語と数学で昨年度より向上している状況です。

各教科の状況につきましては、右下の部分に記載しております。この中で泉佐野市の子ども達が概ね解答できていたものと、特に課題が大きかったものを紹介します。それぞれの文章の後ろに記載している番号は、当日の調査の問題番号になっております。

概ねできていたものとしましては、小学校国語の1—2—(2)で、オンラインで交流する場面における話し方の工夫として適切なものを選択する問題です。この問題は、資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるかどうかを問われる問題で、泉佐野市の子ども達の平均正答率は、府・国よりも高い状況でした。

一方、特に課題の大きかった問題は、中学校数学の9—(1)三角形の合同を基に、2つの直線の長さが等しいことを証明する問題です。筋道を立てて証明することができるかどうかを問う問題ですが、気になるのは無解答率で、実に43.7%の生徒が記載できていないという状況でした。これらの課題についても、学力向上担当者会等を通じてさらに詳しい状況を伝えていくとともに、各校でしっかりと分析し、必要であれば取組みの見直しを行うように指導してまいります。

続いて、結果概要裏面をご覧ください。児童生徒質問紙は、4点特徴的なことを取り上げております。気になる点としては、「自分には、よいところがあると思いますか」の問いでは、小学生では自分によりよいところがあると感じている割合が国・府に比べて高いが中学生では下回っていることがわかります。これは、いわゆる「自尊感情」について聞いている質問です。自尊感情は幼い時期から子ども達に関わる全ての人や様々な出来事が関わり高められていくものです。もちろん中学校だけの問題ではなく、子ども園・小学校はもちろん、地域・保護者でしっかりと子ども達を見守って、育てていく必要があると考えております。また、「朝食を毎日食べていますか」の質問では、朝食を毎日食べている児童生徒の割合が、国・府に比べて低いという課題が見られ、これについても大変気になるところであります。

以上、概要についてお伝えしました。泉佐野市の子ども達の学力や学習状況の改善のために、学校や家庭・地域と連携して取り組んでいけたらと思っています。

報告は、以上でございます。よろしくお願いたします。

奥教育長

全体的に小学校も中学校も去年より少し改善したという感じですね。子ども達のアンケートからも改善していることがわかり、例えば先程説明のあった自尊心については小学校で特に改善しており、分からないこと等があった際に自分で学び方を考え工夫することができているかについても小学校・中学校ともに国・府を上回っている状況で、少し改善しています。ただ、生活習慣の朝食を毎日食べているかについては、やはり以前と比べて同じような状況であり、生活習慣あるいは非認知能力の改善ということで大きな課題があり、またタブレットや Chromebook 等 ICT 機器について教育委員会としては様々な取り組みを進めておりますが、子どもの意識としては、あまり使っていないと感じているということで、こちらも大きな課題であると思っております。また後程私の方からも、追加の説明をさせていただきます。

ただ今の報告について、委員の皆様でご意見ご質問がございましたらお願いします。

甚野委員

以前からこういった調査で、朝食を食べていますかという内容の質問がありまして、今回はこのような結果が出ておりますが、例えば、朝に登校してから何か簡単な炭水化物やバナナ等を学校で提供するといった案はどうでしょうか。起床してから登校するまで、1時間から3時間程度経ってしまっていて、お腹が空いてしまっており、脳の方に様々な栄養が回らない状態で勉強をしても、なかなかエンジンがかかりにくいように思います。勉強を始めるときに、少しでも何かお腹の中に入っていると、お昼の給食までつなぐことできるのではないかと思います、ご提案します。

辻本学校教育課学校指導担当参事

甚野委員がおっしゃられるように、やはり朝にエネルギーを入れて、学校の授業に臨むということは大変大事なことだと思います。こちらについて学校では、朝食の習慣をつけるように子ども達に促しております。しかし先程おっしゃられたような実際に朝食を食べてくることができない子どもに対して、学校側で何か具体的な対策をすることまでは現状ではできておりません。ただ学校によっては、こども朝食堂を実施しているところも増えてきておりますので、こちらを活用し、結局のところ、家庭の習慣の方を変えていくことができれば良いと思います、取り組んでいるところでございます。

甚野委員

実際に取り組んでいらっしゃいますが、家庭の習慣が改善されないということが現実であると思っております、学力向上という大きな目標がある場合、どこまで学校の方が担うかわかりませんが、授業が始まる前に、何か軽いものでもよいので少しでも口に入れてもらうっていうのもひとつの方法であると思われましたので、ご提案させていただきました。またよろしく願いいたします。

奥教育長

おっしゃることはよく理解できますが、学校が食事を提供すること自体について良いかどうかの判断もありますし、やはりそれは基本的には家庭がきちんと担わなければならないものです。しかし泉佐野市としましても、元気がない子が来ている状況は改善する必要があるため、こども朝食堂

を実施して、少しでもそのような子ども達が勇気づけられて、元気づけられるように取り組んでおり、また継続することによって、家庭にも習慣を改善する必要があると感じてもらい、小さな子どもでもそうですが、特に大きな子どもであれば、やはり自ら習慣づけて何か食べなければならないということをしっかり考えていただければと思います。甚野委員のおっしゃることも含め、大人や家庭、地域と連携しながら進めていく必要があると思いますので、よろしく願いいたします。

甚野委員

学力向上につながればよいなと思います。

奥教育長

他にございませんか。

無いようでございますので、以上で報告第30号を終わります。

続いて、議案審議に移ります。

議案第13号「泉佐野市立中学校35人以下の少人数学級推進事業実施要綱の改正について」を議題といたします。説明をお願いします。

山岡教育総務課教職員担当参事

それでは、議案第13号「泉佐野市立中学校35人以下の少人数学級推進事業実施要綱の改正について」ご説明させていただきます。

資料をご覧ください。

今年度から中学校1年生を対象に実施いたしております35人以下の学級編制につきまして、予算の範囲内で学年を拡大することができるようにするため、新旧対照表にあります通り、趣旨の「中学1年生」を「泉佐野市立中学校」と改めさせていただきたいと考えております。その他についての内容の変更はございません。ご承認いただけましたら令和7年1月1日付で施行させていただきたいと思っております。

説明は以上です。ご承認いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

奥教育長

ただいま、教育総務課から説明がありましたが、ご意見、ご質問等がありましたらお願いいたします。

山下委員

この変更によって泉佐野市の中学校5校で学級が何クラス増え、教員が何名必要となるのか教えてください。

山岡教育総務課教職員担当参事

予算の関係で何名配置できるかということもありますが、来年度の見込みは市内で1年生が3学級、2年生が2学級、3年生が1学級の増となりまして、教員が5名必要となります。今年度は中学校1年生に1名ついておりますので、4名増加という形になります。以上です。

山下委員

その4名について、予算や人員は現状どのような感じでしょうか。

山岡教育総務課教職員担当参事

予算につきましては現在財政当局と折衝中で、できる限り努力をしていきたいと思っております。少なくとも1年生は今年度も実施させていただいておりますので、どれだけ拡大できるかということについてこちらの方で努力させていただくとともに、要綱としても拡大できる内容に改定をさせていただければということで、ご承認いただければと思います。

山下委員

要するに拡大しなければならないということではなく、拡大することもできる内容に改定するということですね。ありがとうございます。

奥教育長

他にございませんか。

中村委員

気づいた点のご報告になりますが、新旧対照表の上の部分が「泉佐野市立中校」となっており、「学」が抜けています。

山岡教育総務課教職員担当参事

申し訳ありません。修正いたします。

奥教育長

他にございませんか。

無いようでございますので、議案第13号「泉佐野市立中学校35人以下の少人数学級推進事業実施要綱の改正について」は、原案どおり承認することとしてよろしいでしょうか。

(各委員 「異議なし」の発言あり)

ご異議ございませんので、本議案は、原案どおり承認することに決定いたしました。

次に議案第14号「泉佐野市立小中学校における心身の健康への適切できめ細かな対応充実推進事業について」を議題といたします。説明をお願いします。

山岡教育総務課教職員担当参事

それでは議案第14号「泉佐野市立小中学校における心身の健康への適切できめ細かな対応充実推進事業について」ご説明させていただきます。

資料をご覧ください。

泉佐野市立小中学校の児童生徒の心身の健康への適切できめ細かな対応を充実させるため、令和7年4月から市費講師の配置を計画いたしております。

趣旨については、要綱にあります通り、小中学校の児童生徒の心身の健康への適切できめ細かな対応を充実させることにより、児童生徒が安全安心に学校生活を送ることを実現させ、学校生活に対する意欲向上を図ることを目的として、任期付教育職員、いわゆる市費講師を配置するために必要な事項を定めるものとなっています。

第2条以下は要点を説明させていただきます。

第2条は2月1日を基準として、全児童生徒数が550人以上となる学校を対象として、市費講師を配置するという事です。

第3条は学校の状況に応じて予算の範囲内で配置するという事です。

第4条は市費講師の任期は1年間で、労働条件は「泉佐野市立学校の市費負担教職員の勤務時間、休日、休暇等に関する規則」の通りにするという事です。

第5条は実施校の成果報告とその他の取りまとめについてです。

第6条は不適切な活用等があった場合には教育委員会より是正措置を講じるというものです。

第7条は要綱に定める以外の必要な事項は別に定めるという事です。

ご承認いただけましたら令和7年1月1日付で施行させていただきたいと思っております。

説明は以上です。ご承認いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

奥教育長

ただいま、教育総務課から説明がありましたが、ご意見、ご質問等がありましたらお願いいたします。

石崎委員

生徒数が550人の学校は泉佐野市に何校ありますか。

山岡教育総務課教職員担当参事

次年度の見込みでは小学校で2校、中学校で1校が対象になり得るということがございます。先程もありましたが、予算の範囲内となりますので、対象になる学校から課題を精査させていただきまして、予算の範囲内で配置をさせていただければと考えております。

石崎委員

1名は確実に配置できるのでしょうか。

山岡教育総務課教職員担当参事

各校に1名ずつ、いわゆる国・府の定数で養護教諭、保健室の先生がいらっしゃいます。それに加えて児童生徒数が、小学校の場合は850名を超えともう1名、中学校の場合は800名を超えともう1名配置されます。現在最も生徒数が多い小学校では、ご存じの通り日根野小学校で797名であり、60名ほど足りず、中学校では佐野中学校の632名ということで200名ほど足りておりません。比較するのもどうかとは思いますが、ご存じの通り、児童数が最も少ない学校で

は40名程度となり、そちらの学校でも養護教諭の配置は1人となっております。今お話をさせていただいたように800人程度の学校でも配置されるのは1人ということで、養護教諭の負担も学校によって異なっております。それによって子ども達が心身の健康を保つために、相談も含めて保健室を利用する回数についてもやはり丁寧に対応していく必要があるということで、市として、この要綱に定めてある通り予算の範囲内で何とか支援できればと考えております。以上です。

石崎委員

ありがとうございます。

奥教育長

よろしいですか。

他にございませんか。

中村委員

議案資料にあります報告書については、誰がどこに提出するものですか。

山岡教育総務課教職員担当参事

各学校から教育委員会事務局にご提出いただき、きちんと目的通りに実施しているかを判断するものとなっております。

奥教育長

予算のかかるものになりますので、きちんと成果報告を行いながら実施しなければなりません。

中村委員

アンケート2枚目の「(2) 保護者からの意見」の下から3つ目の項目「いのちの大切にし、きまりを守る態度を育てている。」という部分について、「いのち」の後は「の」ではなく「を」だと思います。

山岡教育総務課教職員担当参事

ありがとうございます。修正いたします。

中村委員

アンケートのことで確認になりますが、2学期後半から3学期頃に子どもが学校から持って帰ってくる茶封筒のアンケートの集計が反映されているということですか。

山岡教育総務課教職員担当参事

基本的には各学校でそのようにアンケートを取っていただいたものを使っていただくこととなります。そこにあります通り、各学校で取ったアンケートにおいて、どうしても似たような質問がない場合は、その項目の回答はできなくなるという可能性はあります。

中村委員

小学校と中学校でも対象人数が決まっていますが、提出がない場合もありますよね。全員回収できるとは限りませんので。

山岡教育総務課教職員担当参事

その通りです。対象から当該人数を調査して、どのくらいになるかというアンケートになりますので、ご理解いただけましたら幸いです。

奥教育長

他にございませつか。

無いようでございますので、議案第14号「泉佐野市立小中学校における心身の健康への適切できめ細かな対応充実推進事業について」は、原案どおり承認することとしてよろしいでしょうか。

(各委員 「異議なし」 の発言あり)

ご異議ございませつかので、本議案は、原案どおり承認することに決定いたしました。

次に議案第15号「令和7年度 泉佐野市小中学校教職員人事異動基本方針について」を議題といたします。説明をお願いします。

山岡教育総務課教職員担当参事

それでは、議案第15号「令和7年度 泉佐野市小中学校教職員人事異動基本方針について」ご説明させていただきます。

資料をご覧ください。

本市の小中学校に勤務する教職員の令和7年度当初人事を行うにあたり、大阪府教育委員会の「大阪府公立学校教職員人事基本方針」に基づき、泉佐野市教育委員会において「令和7年度 小・中学校教職員人事基本方針」を定めるというものです。

昨年度からの大きな変更点は、大阪府の基本方針の変更に伴い、新規採用者以外のものについての異動年限の対象が6年目から10年目となっていたものを、5年目から9年目とするものであります。

その他は特に大きな変更はございませつか。

要点のみ確認させていただきます。

基本方針の重点としましては、「教職員の人事」「校長及び教頭の人事」「女性教職員の人事」の3点において、本市教育界の諸要請にこたえ、全市的な視野に立ち、適切な人事を行うため、積極的に努力をはらうというものです。

教職員の人事では「教職員構成の適正化」「学校の活性化を図る人事の推進」「新規採用教員の人事」「計画的な異動」「広域人事及び過欠員の調整」「ヒアリングの実施」の6点、校長及び教頭の人事では「校長及び教頭の異動等」「校長及び教頭の任用」の2点、女性教職員の人事では「各学校における主任等の任命に当たっては、女性教職員の登用を計画的に進める。」「女性教職員の人事に当たっては、母性保護の観点に十分留意する。」の2点を挙げています。

今後、年度末・年度当初の人事を進めるにあたり、校長ヒアリングをもとに、全市的な視点から、学校の諸課題に配慮しつつ、学校の活性化を図る人事の推進を行って参ります。

説明は以上です。ご審議の上ご承認くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

奥教育長

ただいま、教育総務課から説明がありました。ご意見、ご質問等がありましたらお願いいたします。

新規採用者の異動年限は変わりませんが、新規以外の異動については短くなるということですね。昔は長い期間同じ学校に配置される方もいらっしゃいましたが、そうではなく、やはり早く異動をすることで、どこでも対応できるという言い方はおかしいですが、そのようなことをしていかなければ、なかなか活性化に繋がらないということがございます。大阪府の方もこのような方針で来ておりますので、市の方もそちらに併せて異動年限を短くしていくということがございます。

他にございませんか。

無いようでございますので、議案第15号「令和7年度 泉佐野市小中学校教職員人事異動基本方針について」は、原案どおり承認することとしてよろしいでしょうか。

(各委員 「異議なし」の発言あり)

ご異議ございませんので、本議案は、原案どおり承認することに決定いたしました。

続きましてその他で何かございますか。

本道教育総務課夜間中学校担当参事

8月の定例教育委員会議にて中村委員からご質問のあった件につきまして、確認をいたしましたので、報告をいたします。報告が遅くなりまして、申し訳ございません。

まず、お手元に配布しております「泉佐野市立佐野中学校夜間学級の現状」という資料をご覧ください。この資料は、7月の校園長会にて佐野中学校の校長より夜間学級の現状としてご報告させていただいたものでございます。こちらの資料の下部に「羽倉崎駅ホームで、ベンチに座っている姿。」ということが記載されておりまして、羽倉崎駅で寂しく座っている学生の様子が報告されていますが、こういった状況ですか、大丈夫なのですかということが中村委員からのご質問の趣旨であったかと思えます。佐野中学校の校長に確認をしましたところ、あえてこの内容を報告させていただいたのは、現在夜間学級の生徒は皆楽しく通学しているところですが、皆さんそれぞれ課題を持っており、学校としましては、表面的なことだけを見るのではなく、ちょっとした素振りや表情に注意して、きめ細かい指導をしていきたいという教育方針を説明したかったということがございます。先程申し上げたように夜間学級の生徒は基本的に皆楽しく通っております。しかし、夜間中学に来ているということから、殆どの生徒が何らかの生き辛さを抱えています。そのような、勉強だけではなく、生活支援等の様々な相談を学校の方で受けております。マスコミや報道では良いところばかり紹介されていますが、現場の方では深夜まで対応するなど、色々と、そのようなことにも一生懸命取り組んでいただいております。ご心配には及ばず、現場の方で頑張らせていただいているということがございます。

話は変わりますが、本日秋の入学式を執り行います。新入生として29名にご入学いただいております、春に入学した41名と合わせて、生徒数が計70名となります。春の入学式では教育委員の皆様方にご出席いただきましたが、今回は来賓をご招待せず、学校関係者だけで執り行いますので、よろしく願いいたします。

奥教育長

本日の秋の入学式には私が教育委員会を代表して出席します。

中村委員、よろしいですか。

中村委員

はい、ありがとうございます。

奥教育長

他にございませんか。

池田スポーツ推進課泉州国際マラソン担当参事

今年度のKIX泉州国際マラソンにつきまして、その概要を説明させていただきます。

今年度のマラソンにつきましては、先般の広報10月号の方に概要を掲載しておりますので、すでにご覧いただいている委員もいらっしゃるかと思いますが、本日お手元の方に参加者募集のチラシを配布させていただいておりますので、こちらをもとにご説明をさせていただきます。

なおこのチラシは今日時点のものになりますが、最終のものではなく、まだ校正中のものという事でお取り扱いいただきますようお願いいたします。

それでは、まず飛行機の写真のあるページをご覧ください。今年度で第32回目となりますKIX泉州国際マラソンでございますが、今年度も昨年度に続きまして、残念ながら、以前のような堺市の浜寺公園から泉佐野市まで走ってくる公道を使用したマラソンは実施をいたしません。

今年度は関西国際空港の開港30周年にあたりますので、30周年記念の特別大会といたしまして、関空対岸のりんくう公園内にて特設コースを周回するマラソンとしての実走でのフルマラソンとハーフマラソンを実施させていただきます。

また昨年度実施いたしましたオンラインマラソンにつきましても、日本各地からご参加いただいて好評を得たということで、併せて実施いたします。

大会日時につきましては、りんくう公園内を走るフルマラソンが2025年(令和7年)2月9日(日)午前8時のスタートで、募集人数は700名でございます。ハーフマラソンの方は、同日の午後1時30分スタートで、募集人数は300名でございます。オンラインマラソンは令和7年1月27日(月)から2月9日(日)の期間で、どこでも好きなところで目標距離を走っていただくということで、併せて3,000人の募集をさせていただきます。

続きまして裏面の方をご覧くださいよう、お願いいたします。

裏面の方の、上の部分がりんくう公園内の周回コースの略図となっております。スタートとゴールにつきましては、橙色のところになりますが、空港連絡橋の高架下にりんくうの公園事務所があり、そちらの前のあたりをスタートとゴールの地点にする予定でございます。周回コースにつきま

しては、実線の部分となり、緑の矢印を付けておりますが、そちらを周回するという事で、こちら1周で約4kmとなります。フルマラソンではこちらを10周してゴール地点に戻ることで、ハーフマラソンではこちらを5周してゴール地点に戻ることであります。

表彰式等につきましては、隣接しているりんくうアイスパークの野外音楽堂ステージの方を活用して行う予定でございます。

またこのアイスパークの芝生広場の方では、9市4町の特産品や飲食等のブースを出店願っており、にぎわいづくりの方も併せて図ってまいります。

下段の方ですけれども、大会の特徴といたしまして、まず1点目が「充実した参加賞、完走賞」ということで、ご参加いただく皆様には参加賞のTシャツ、完走された方には完走メダルと完走タオルとして泉州タオルを進呈することとなっております。2点目が「日本一？ゆるい制限時間」ということで、実走フルマラソンが9時間4分という設定をさせていただいております。この理由でございますが、今回はあくまで来年度以降の公道でのフルマラソンを目指すための代替事業という位置付けでございますので、公園の周回ということで制限時間をゆるくして、初めてチャレンジする人でもご参加いただきやすいような設定時間であること、また国内のフルマラソンについて現時点で調べた中では一番制限時間がゆるいところで9時間というのがありますので、そちらを少し上回るものです。また関西国際空港の開港日が9月4日ということもございまして、主催が9市4町ということでございまして、いずれも9と4という数字になりますので、9時間4分という制限時間として、これがおそらく日本一ゆるい制限時間かと思いき、設定させていただいております。3点目が「ランナーを支える豊富な給食」ということで、水とスポーツドリンクに加えて、泉州地域の和菓子や洋菓子など、泉州地域ならではの給食を実施したいということで、現在9市4町の方で探しているという状況でございます。4点目が「関西国際空港を望むことのできる特設コース」であること。5点目が「泉州地域の特産品が当たる抽選会」でございます。実走・オンラインマラソンの両方の参加者の中から抽選で合計800名の方にそちらに記載の特産品が当たる抽選会を実施するものでございます。

続きまして、見開きのページを開いていただき中面の方をご覧いただきたいと思っております。こちら中面の方はランナーの募集要項等となっております。申し込み期間は10月10日から11月30日で先着順となっております。また詳しくは後程ご覧いただければと思っております。

この点につきまして、委員の皆様方も、お知り合いの方にご紹介をいただければ幸いです。またオンライン等もございまして、ご都合つきましたら、委員の皆様もご参加いただければ幸いです。

概要は以上でございます。よろしくお願いたします。

奥教育長

ありがとうございました。

中村委員

そもそも何も知識がありませんので、本当に素人の質問になりますが、大阪国際マラソンのような、公式大会に位置づけられるマラソンでしょうか。

池田スポーツ推進課泉州国際マラソン担当参事

今回のものにつきましては公式公認のものではありません。以前、堺市の浜寺公園から泉佐野市まで走っていたものは、あちらの方は日本陸上競技連盟公認のものでしたが、今回のりんくう公園を周回するものについては、残念ながら公認のものではありません。

奥教育長

よろしいですか。

他にございませんか。

無いようですので、本日の委員会に付議されました議題はすべて終了いたしました。

次回の11月の定例教育委員会議は令和6年11月14日木曜日、午後2時から、市役所5階第1会議室で開催いたします。

それではこれをもって本日の会議は終了いたします。

(午後3時00分閉会)